

近江八幡市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果報告書 (概要版)

I 調査の概要

調査の目的

「第二期近江八幡市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）」を策定するにあたって、子ども・子育てに関する利用意向や意見を聞き、その調査結果を計画策定の基礎資料として活用するために実施しました。

調査期間

就学前児童：平成30年11月26日（月）～平成30年12月14日（金）

小学生児童：令和元年5月17日（金）から5月20日（月）に市内小学校に配布

回答締切：令和元年5月30日（木）

回収状況

地区別の調査件数と有効回収数、回収率は、以下になります。

①就学前児童

		合計
調査件数		3,472世帯
回収結果	有効回収数	1,969世帯
	回収率	56.7%

②小学3年生

		合計
調査件数		804
回収結果	有効回収数	683
	回収率	85.0%

③小学5年生

		合計
調査件数		836
回収結果	有効回収数	727
	回収率	87.0%

④小学生保護者

		合計
調査件数		3,734世帯
回収結果	有効回収数	3,145世帯
	回収率	84.2%

II 調査結果

1 保護者の就労状況について

母親の就労状況（就学前児童の保護者、小学生の保護者）

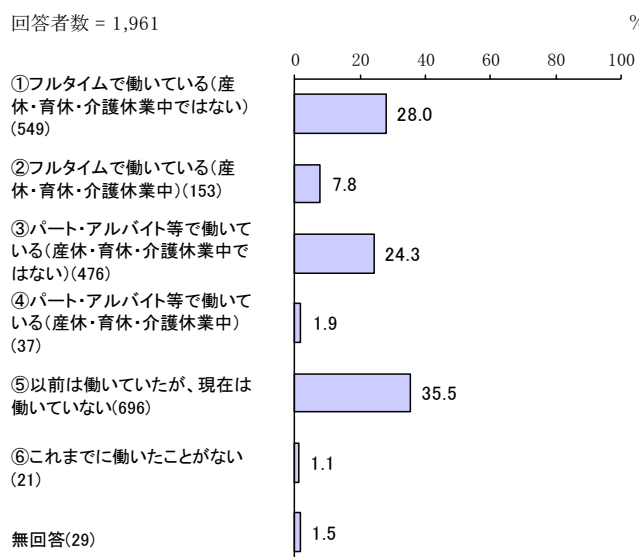
就学前児童の保護者

「⑤以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「①フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が28.0%、「③パート・アルバイト等で働いている（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が24.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、就労している人の割合が増加しています。一方、「⑤以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少しています。

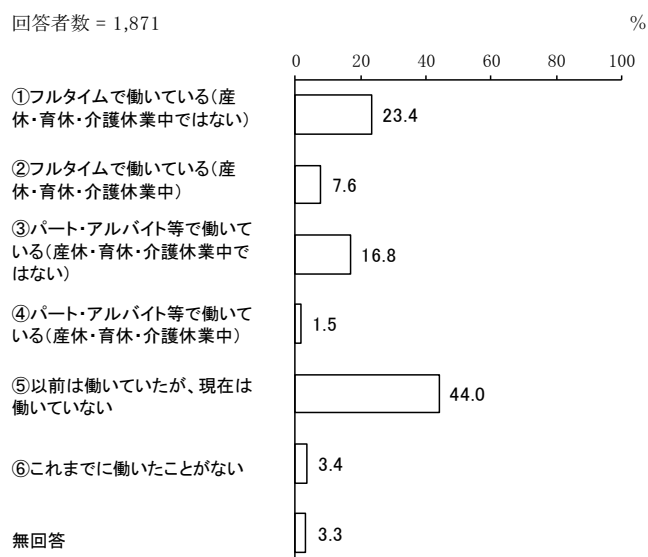
【平成30年度】

回答者数 = 1,961



【平成25年度】

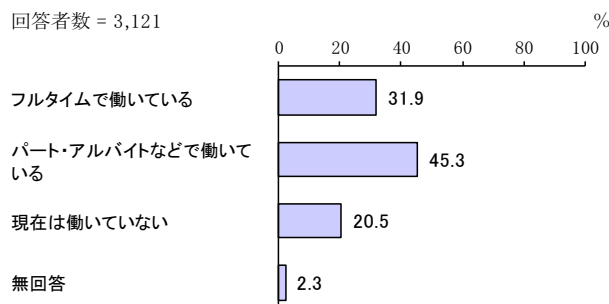
回答者数 = 1,871



小学生の保護者

「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が45.3%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が31.9%、「現在は働いていない」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 3,121



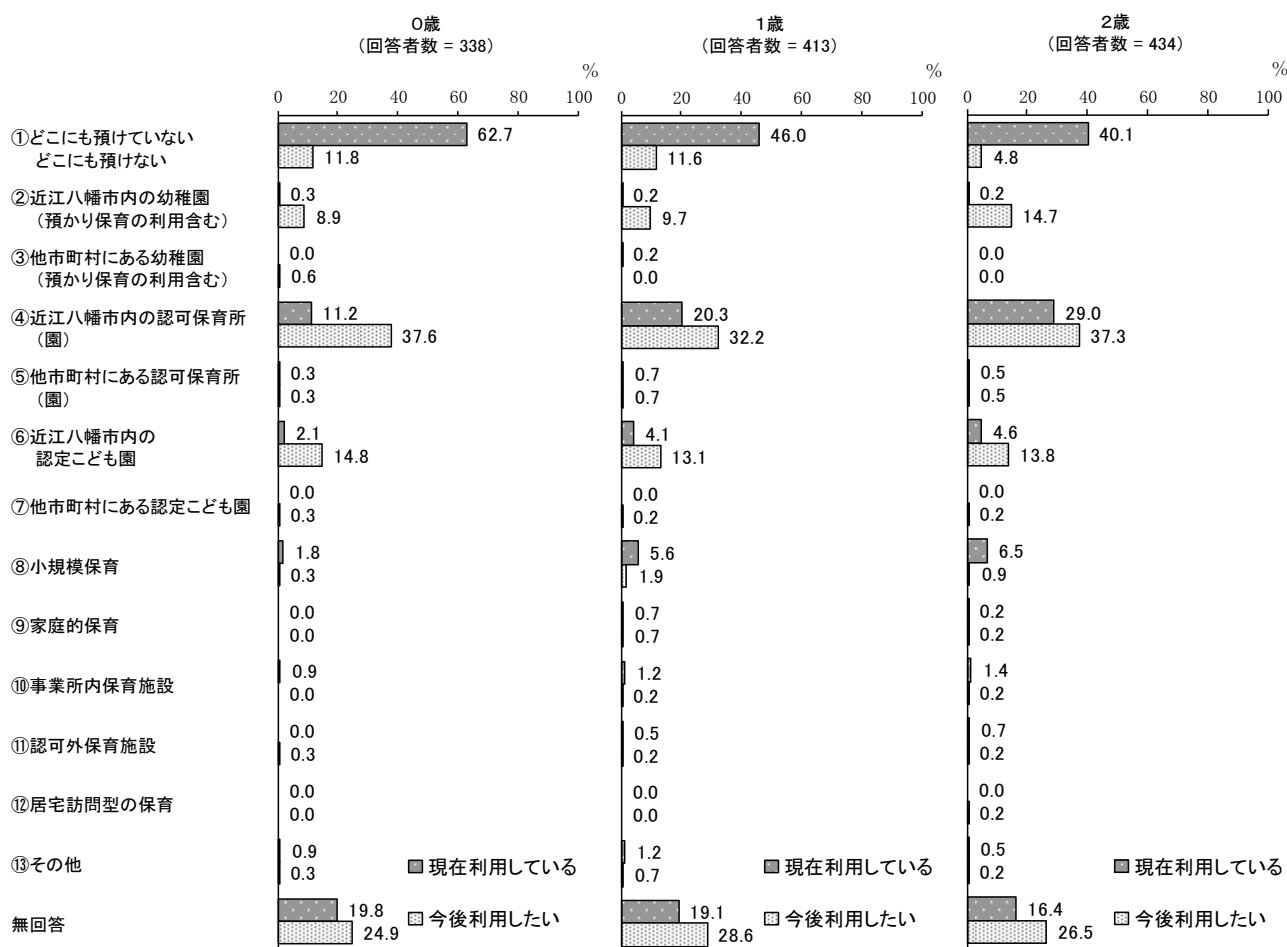
2 教育・保育事業の利用状況、利用希望について

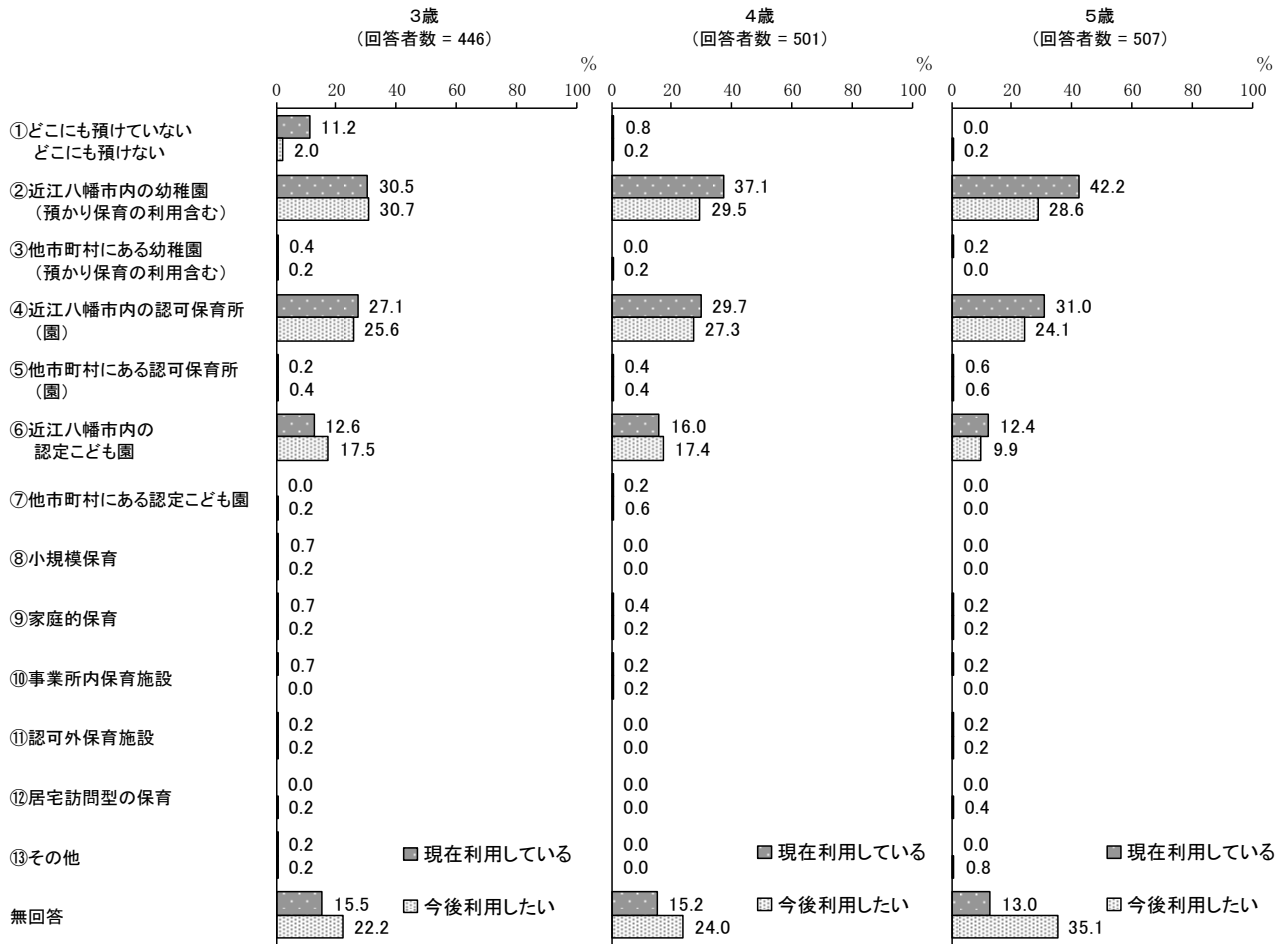
平日利用している教育・保育事業、今後利用したい教育・保育事業（就学前児童の保護者）

就学前児童の保護者

0～2歳では、現在は「①どこにも預けていない どこにも預けない」の割合が最も高くなっています。一方、今後利用したい事業では、「④近江八幡市内の認可保育所（園）」が最も高く、「①どこにも預けない」は低い割合となっています。

3～5歳では、ほとんどの保護者が、何らかの教育・保育事業の利用を希望し、また、実際に利用しています。





3 放課後の過ごし方について

平日の放課後の過ごし方（小学生の保護者）

小学生の保護者

(1) 現在の状況

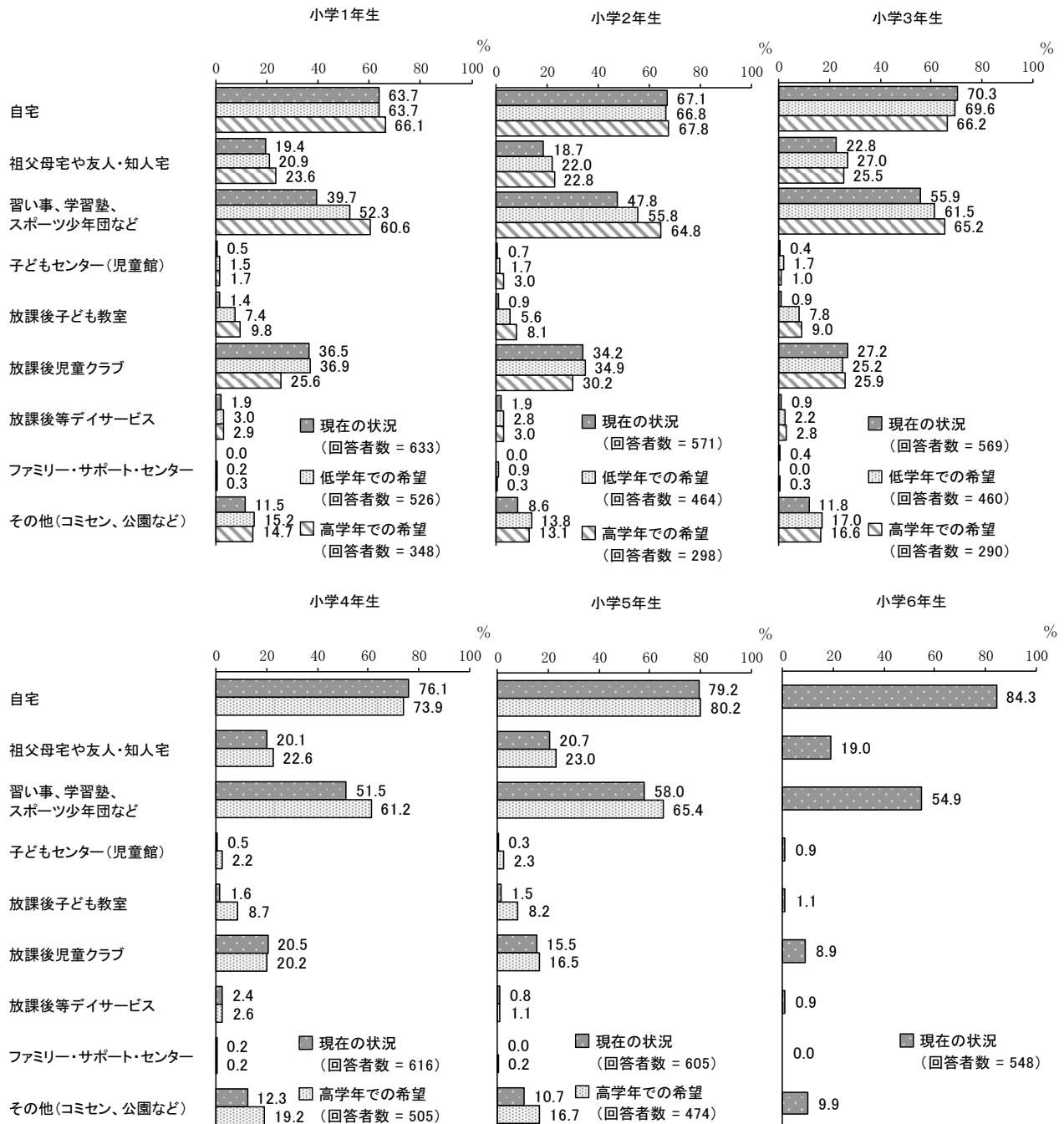
全ての学年で「自宅」の割合が最も高くなっています。学年が上がるにつれ、「放課後児童クラブ」の割合が低くなっています。

(2) 低学年での希望

全ての学年で「自宅」の割合が最も高くなっています。学年が上がるにつれ、「習い事、学習塾、スポーツ少年団など」の割合が高く、「放課後児童クラブ」の割合が低くなっています。

(3) 高学年での希望

他に比べ、小学4年生、小学5年生では、「自宅」の割合が高くなっています。一方、小学5年生では、「放課後児童クラブ」の割合が低くなっています。



4 育児休業の取得状況について

育児休業の取得状況（就学前児童の保護者）

就学前児童の保護者

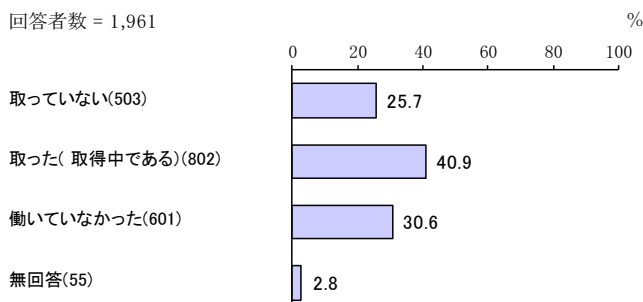
母親では、「取った(取得中である)」の割合が40.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が30.6%、「取っていない」の割合が25.7%となっています。

父親では、「取っていない」の割合が93.8%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、母親では、「取った(取得中である)」の割合が減少しています。

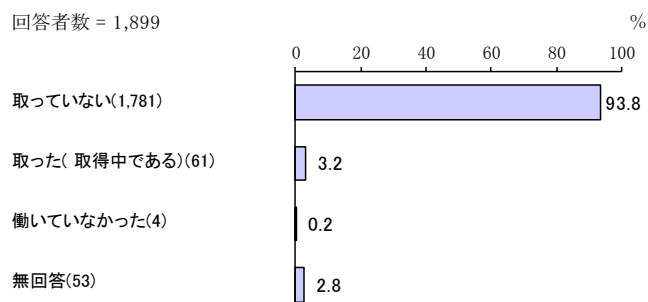
【母親】

回答者数 = 1,961



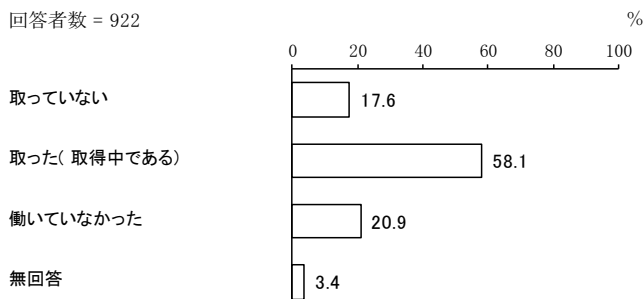
【父親】

回答者数 = 1,899



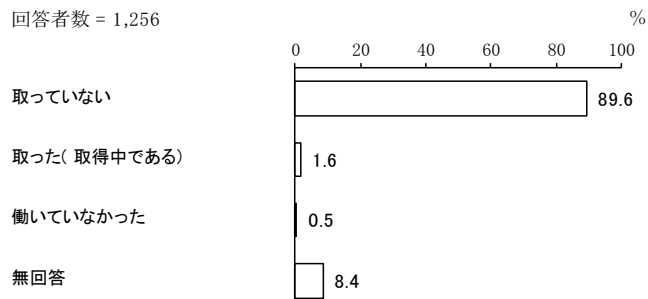
【母親（平成25年度）】

回答者数 = 922



【父親（平成25年度）】

回答者数 = 1,256



育児休業を取得していない理由（就学前児童の保護者）

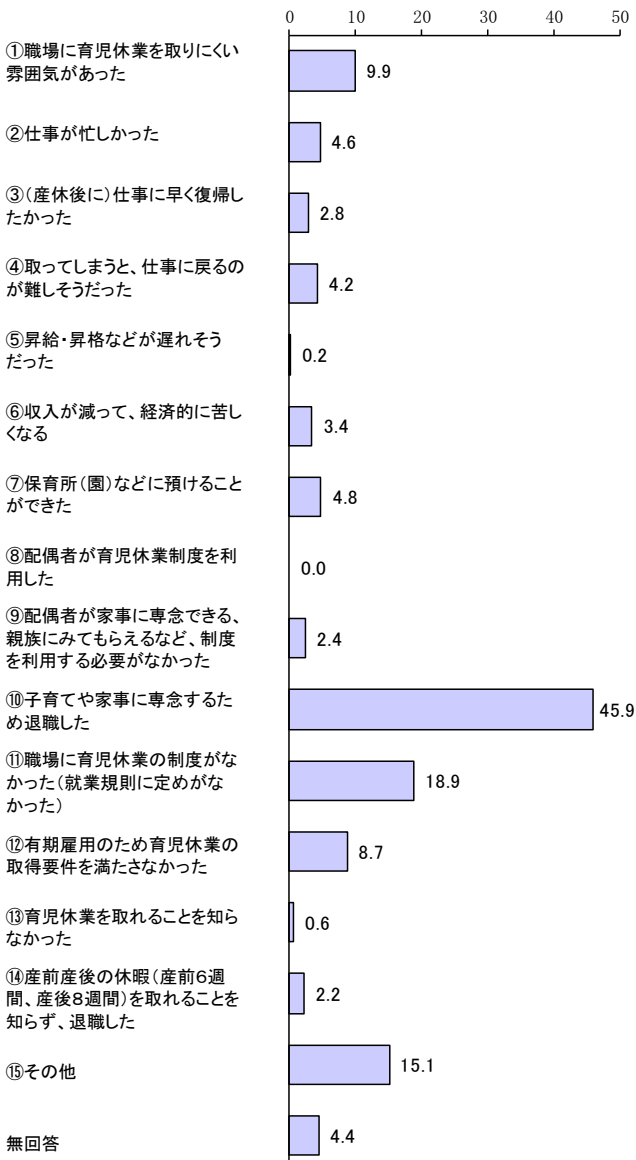
就学前児童の保護者

母親では、「⑩子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「⑪職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 18.9%となっています。

父親では、「②仕事が忙しかった」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「⑨配偶者が家事に専念できる、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が 32.5%、「①職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 31.7%となっています。

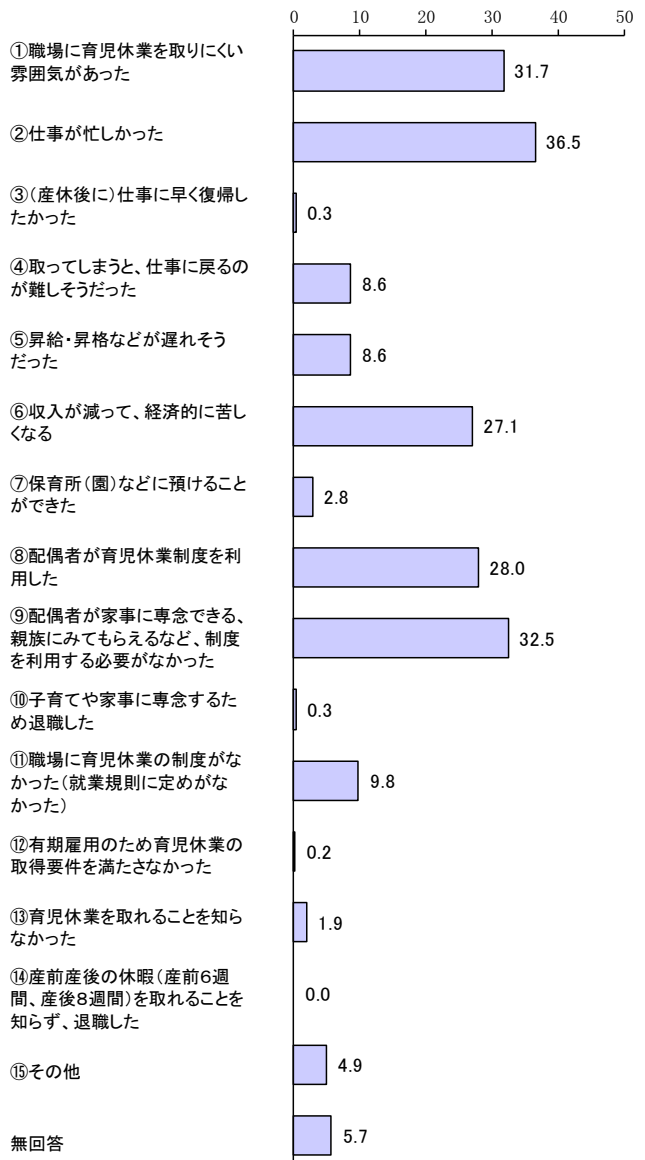
【母親】

回答者数 = 503



【父親】

回答者数 = 1,781



5 子育て環境について

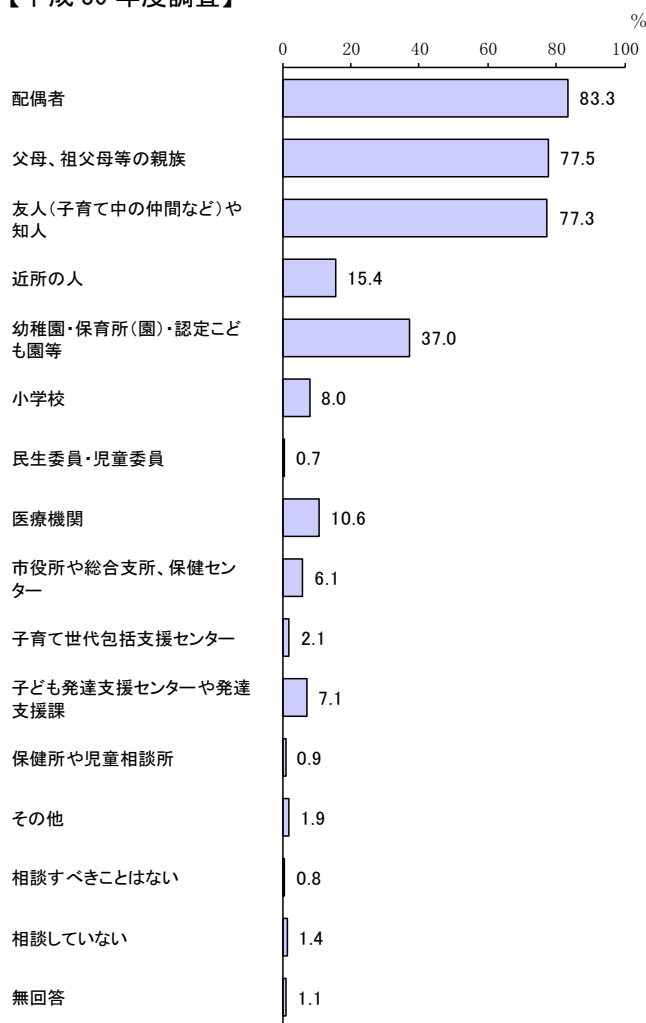
子育てに関する悩みを相談する先（就学前児童の保護者）

就学前児童の保護者

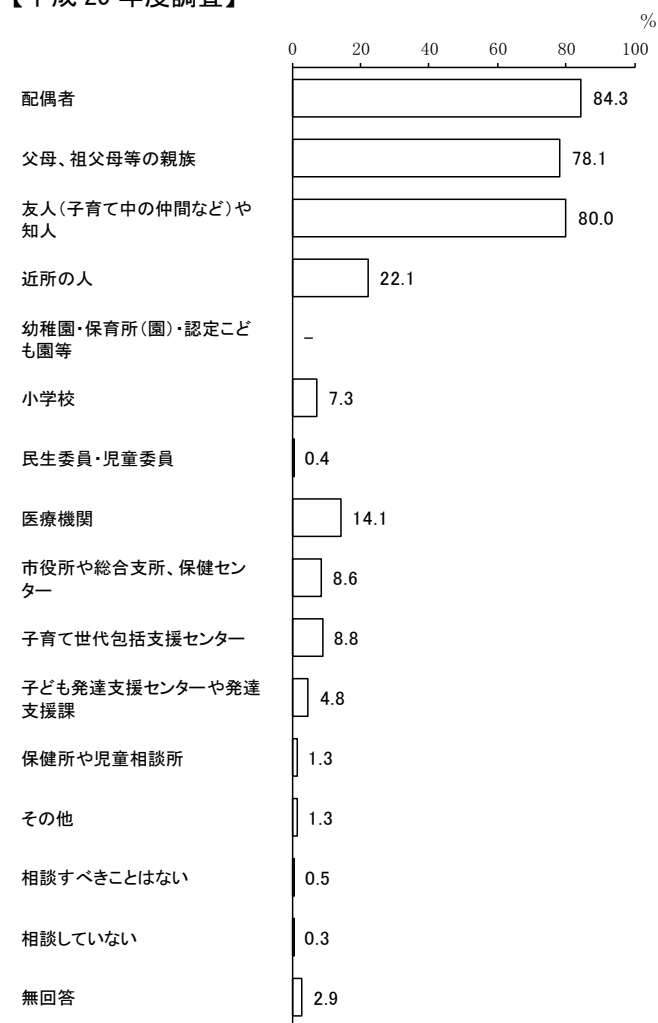
「配偶者」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「父母、祖父母等の親族」の割合が 77.5%、「友人（子育て中の仲間など）や知人」の割合が 77.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】



※平成 25 年度の調査項目の読み替え

平成 25 年度調査にある「幼稚園・保育所(園)・認定こども園等」は、「保育所(園) (20.3%)」「幼稚園 (18.7%)」に分けて調査・集計していました。

また、平成 25 年度調査の「子育て世代包括支援センター」は「子育て支援機関 (8.8%)」、「相談していない」は「相談すべき人がいない (0.3%)」として調査・集計していました。

【その他 (1.9%) の主な意見】

- ・子どもセンター
- ・職場
- ・助産師
- ・インターネット など

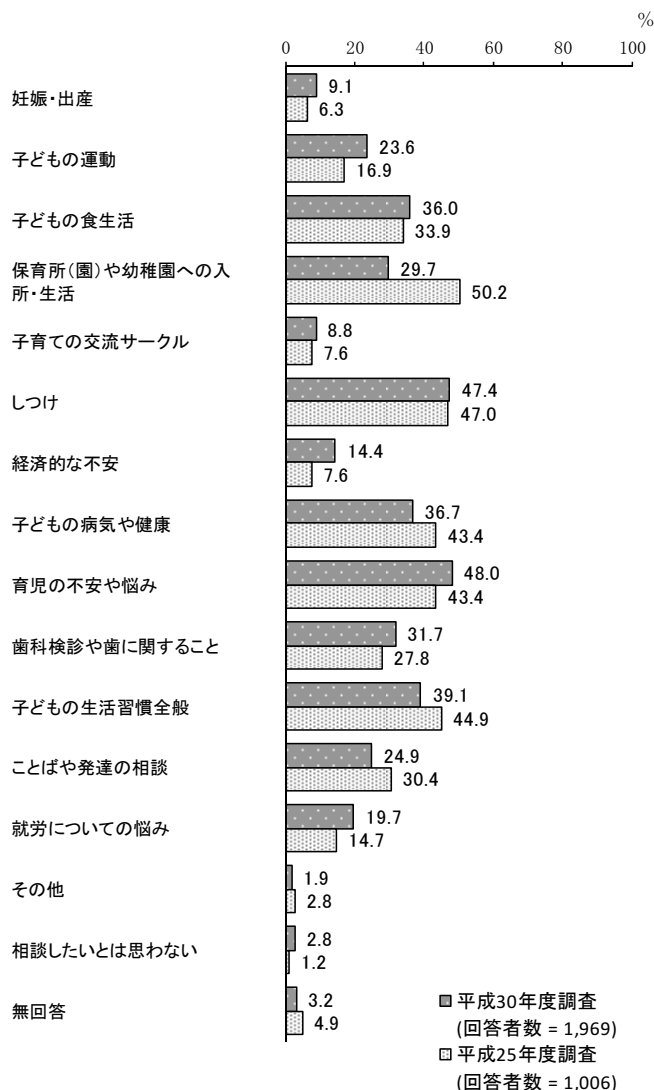
6 子育てに対して不安に思っていることについて

子育てをする上で、相談したいこと（就学前児童の保護者）

就学前児童の保護者

「育児の不安や悩み」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「しつけ」の割合が 47.4%、「子どもの生活習慣全般」の割合が 39.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの運動」「経済的な不安」の割合が増加しています。一方、「保育所（園）や幼稚園への入所・生活」「子どもの病気や健康」「子どもの生活習慣全般」「ことばや発達の相談」の割合が減少しています。



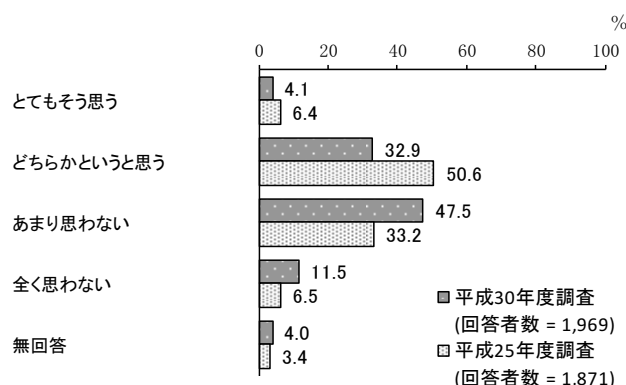
7 子育ての環境や支援への満足度について

子育てのしやすい環境かどうか（就学前児童の保護者、小学生の保護者）

就学前児童の保護者

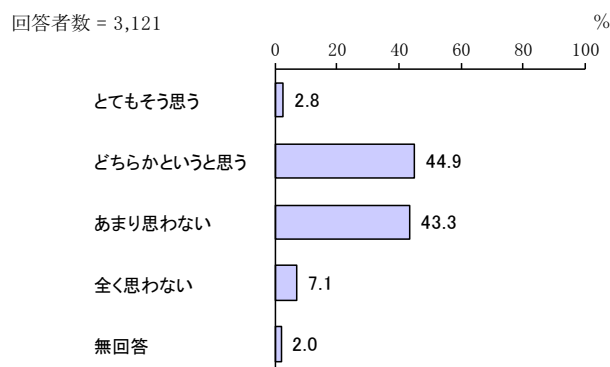
「あまり思わない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が32.9%、「全く思わない」の割合が11.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「あまり思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかというと思う」の割合が減少しています。



小学生の保護者

「とてもそう思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“そう思う”の割合が47.7%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が50.4%となっています。



8 子育てしやすくなる取り組みについて

子育てしやすくするために必要な取り組み（就学前児童の保護者）

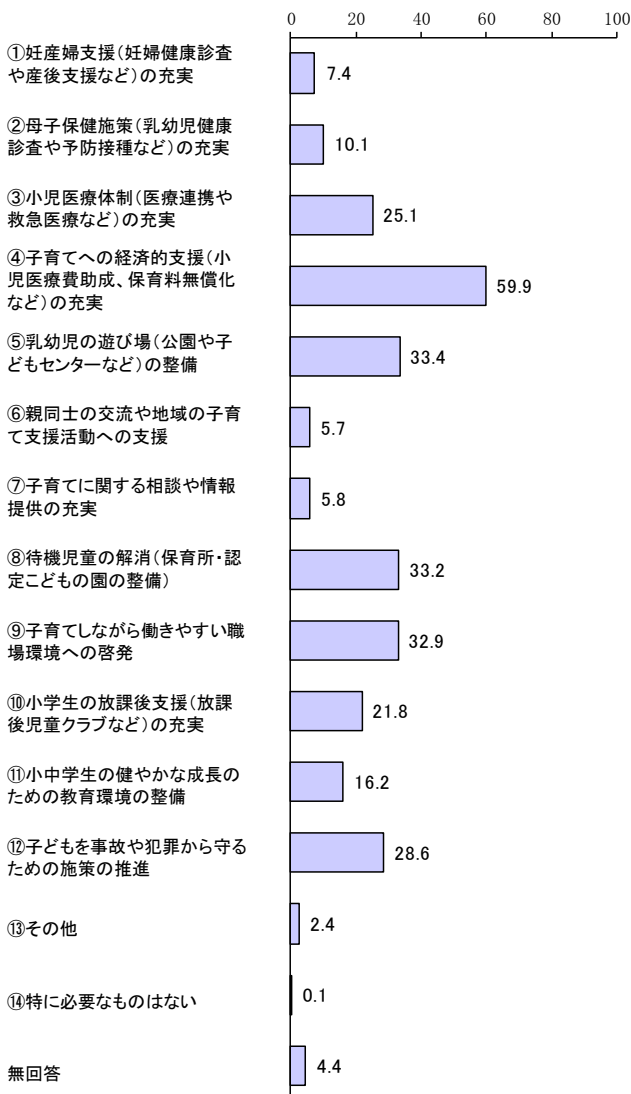
就学前児童の保護者（1～3番目に必要なものを合算）

「④子育てへの経済的支援（小児医療費助成、保育料無償化など）の充実」の割合が59.9%と最も高く、次いで「⑤乳幼児の遊び場（公園や子どもセンターなど）の整備」の割合が33.4%、「⑧待機児童の解消（保育所・認定こどもの園の整備）」の割合が33.2%となっています。

平成25年度調査ではすべての選択肢を選ぶことができたが、平成30年度調査では必要と思うもの上位から3つ選ぶように選択方法が変わったため、選択した割合については参考程度の数値となります。

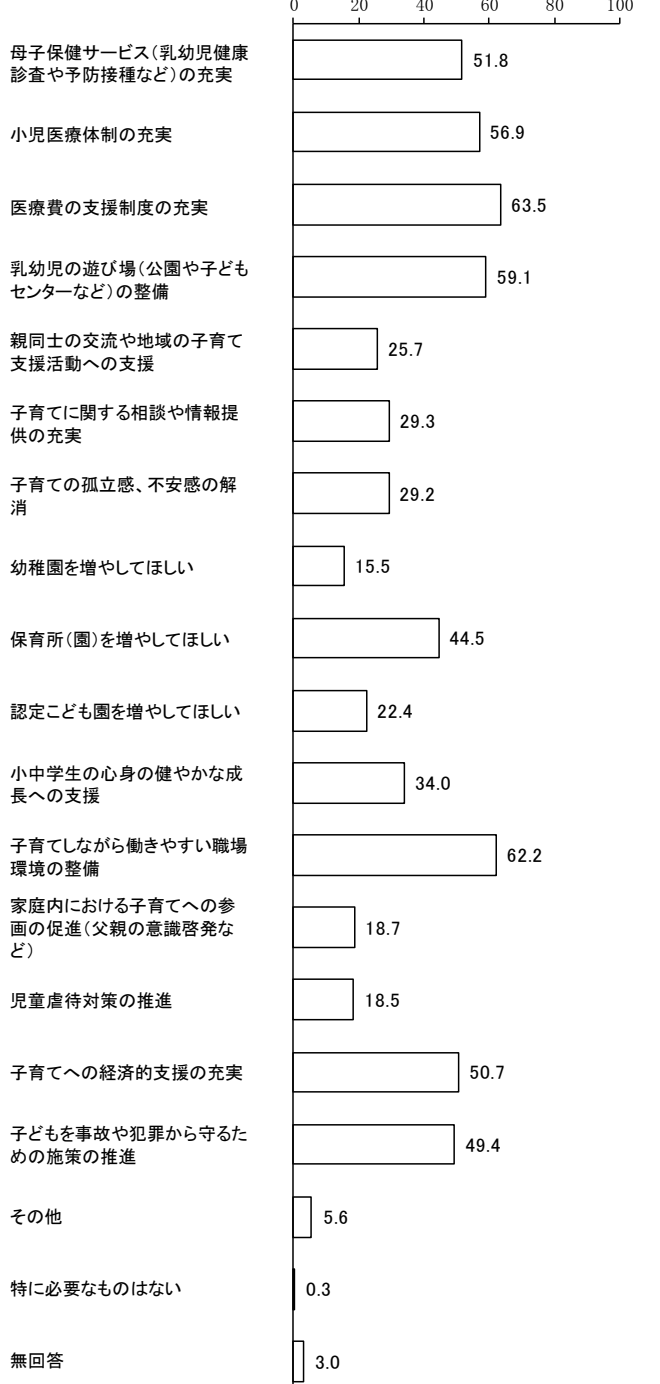
【平成30年度調査】

回答者数 = 1,969



【平成25年度調査】

回答者数 = 1,871



9 子どもの悩みや相談できる人の有無について

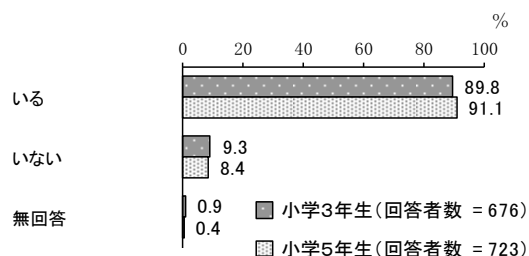
相談できる人の有無（小学校3年生、小学校5年生）

小学校3年生

「いる」の割合が89.8%、「いない」の割合が9.3%となっています。

小学校5年生

「いる」の割合が91.1%、「いない」の割合が8.4%となっています。



10 子どもの自己肯定感について

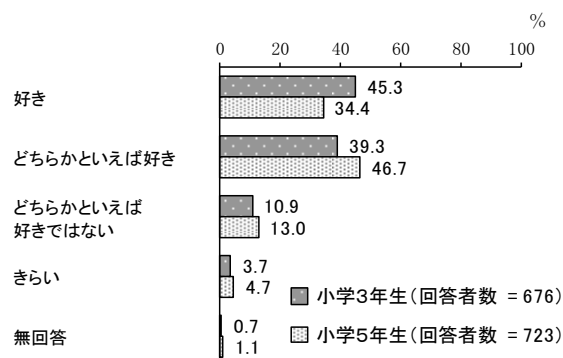
自分のことが好きかどうか（小学校3年生、小学校5年生）

小学校3年生

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が84.6%、「どちらかといえば好きではない」と「きらい」をあわせた“好きではない”の割合が14.6%となっています。

小学校5年生

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が81.1%、「どちらかといえば好きではない」と「きらい」をあわせた“好きではない”の割合が17.7%となっています。



11 子どものこと・将来のことについて

仕事についての将来の希望（小学校3年生、小学校5年生）

小学校3年生

「ある」の割合が66.4%と最も高く、次いで「なんとなくある」の割合が25.1%となっています。

小学校5年生

「ある」の割合が65.6%と最も高く、次いで「なんとなくある」の割合が28.2%となっています。

